

2016年9月（日本国大使館）

安 全 情 報

～凶悪犯罪の増加に伴う注意喚起～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

1 ひったくりから強盗に発展し、邦人が怪我を負う事案が発生

本年8月及び9月に、旅行者がトゥクトゥクに乗車して移動中、バイクに乗車した犯人に、所持していた鞆を強引にひったくられ、トゥクトゥクから転落し怪我をするという事案が発生しています。

8月の事案では、被害者の方が転落した際に頭部を打ち、一時、意識不明の重体となっていたほか、9月の事案では、被害者の方が転落後2～3メートル引きずられ怪我をしています。また、両被害者ともに、豊富な旅行経験と警戒意識を持っており、鞆をしっかりと把持していたにもかかわらず、このような被害に遭われています。

プノンペン都内におけるひったくりは、場所・時間帯を問わず発生していることから、在留邦人及び旅行者の皆様にあつては、極力トゥクトゥクの利用を避け、メータータクシー等の車両を利用してください。

特に、貴重品や重要な物品を持ち歩く、銀行・ATM等から現金を引き出すなどの際には、車両を利用して移動するようにしてください。

やむを得ず、トゥクトゥクを利用する場合には、乗車後も周囲に対する警戒を怠らないでください。

2 プノンペン都内で拳銃等の凶器を使用した凶悪事件が発生

最近、プノンペン都内において、拳銃等の凶器を使用した凶悪犯罪が発生しています。在留邦人及び旅行者の皆様にあつては、不要不急の夜間の外出は控えるほか、外出する際にはメータータクシー等の車両を利用する、人が集している場所に安易に近づかないなどの警戒を行い、自身の安全確保に努めてください。

【凶悪犯罪発生状況】

- 9月6日午前0時20分頃、プノンペン都バンケンコン1付近路上において、交通事故を起こした車の運転者が、拳銃を取り出して周囲の人々を威嚇し逃走した。
- 9月6日午後7時50分頃、プノンペン都バンケンコン3付近路上において、何者かが手榴弾を投げて爆発させ、カンボジア人等少なくとも3人が負傷した。
- 8月10日、午前1時30分頃、プノンペン都バンケンコン2付近に所

在するATM前において、現金を引き出したカンボジア人が、バイクに乗った2人組から襲われ、拳銃で2発撃たれた。

カンボジアは、過去と比較して安全になったイメージがありますが、凶悪なものを含む犯罪が依然として頻繁に発生しています。「日本とは違う」ということを常に念頭に置き、「自分の身は自分で守る」との基本意識を持って、自身の安全確保に努めてください。